

“ジャンク箱”の中に久しぶりの物を発見！！

J A 1 F Y Q (佐藤)

最近、押し入れに入れてありました“ジャンク箱”を整理（私があの世界に行ったとき、残された人が苦労しないように！！）してしまいたら、昭和45年11月号（??）のCQ誌の付録だと思いましたが“88シンプルトランジスタ回路集”（図1-1、図1-2）と言う小誌が出て来ました。思わず小誌の中を開けてびっくり！！アゴにヒゲが生えちゃったのではないかとつい鏡を見てしまい、“ふ〜う、生えてなかった”と安心した次第です。何故かという、（回路図は、今でも十分通用すると思います。）トランジスター、ダイオード、IC等の型が古く、最近のトランジスター、ダイオード、ICの比較が困難なのでどこかに比較表があればどうにかかなると思います。

最近では、殆ど半田ゴテを握る事がない“アマチュア無線人生”を送る昨今！！
どうにかして比較表を探して、この回路集を有効に使って見たいと思う次第です。（ボケ防止にも！！）

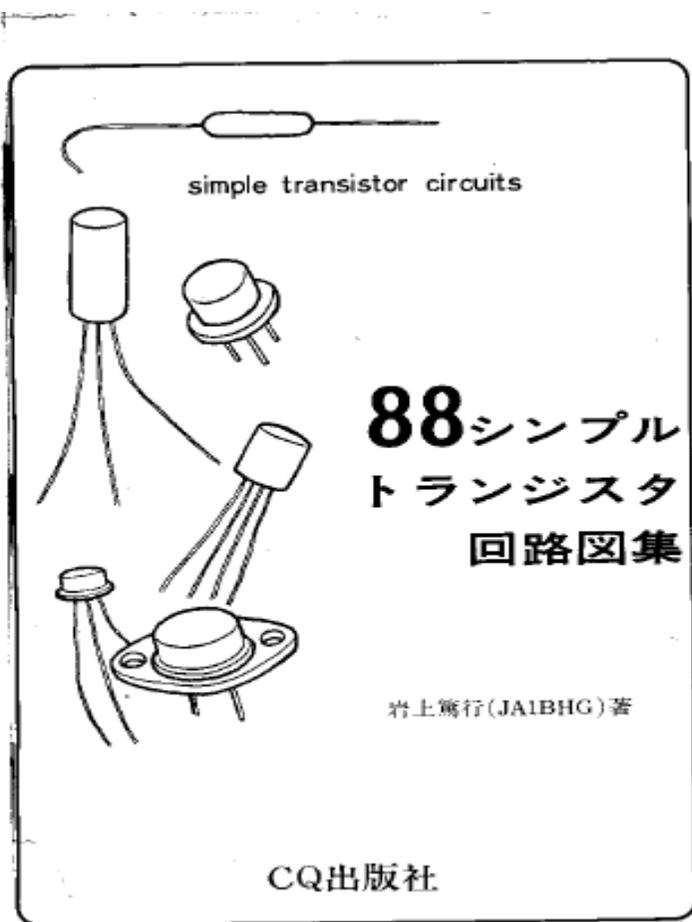


図1-1

♣ も く じ ♣

01	短編の基本回路	5
02	発振の基本回路	6
03	無誘起ピックアップ	6
04	キー・アンプ・キヤ	7
05	20~144MHz電界強度計	7
06	キー・アンプ用逆起回路	8
07	CWモータ	8
08	シフトノットレーサ	9
09	FMTラフプロジェクタ	10
10	エレトロニクス温度計	10
11	5MHz用回路(その1)	11
12	5MHz用回路(その2)	11
13	14~20MHz用FETアンプ	12
14	SCRによる電流制御装置	13
15	100kHzマーカー	13
16	ダイオード高周波スイッチ	14
17	パルスカウンタ式FM検波回路	15
18	5.5MHz用パルスド・モジュレータ	16
19	4石VCO	17
20	1Cによるシミュレート回路	18
21	1CによるFM検波ユニット	18
22	ハンダこてり防止回路	19
23	A用スケルトン	19
24	オープンリレー相変換器	20
25	BWアンプ(変調器)	20
26	T _r の増幅率決定器	21
27	グランド・アップノーマル変調器	21
28	50MHz用5Wアンプ	22
29	F用スケルトン	23
30	オープンQマールチ	23
31	小出力アンプを使ったインターホン	24
32	ツイア・コンプレッサ	25
33	ゲートICのフリップ・フロップ	25
34	144MHzアリコン	26
35	アクティブ・オリッパ	27
36	クリスタルQマールチ	27
37	50MHz用FETアリコン	28
38	ダイオード使用高周波電圧計	29
39	増幅型ALC	29
40	50MHz用2石コネクタ送信機	30
41	安定なVCO	31

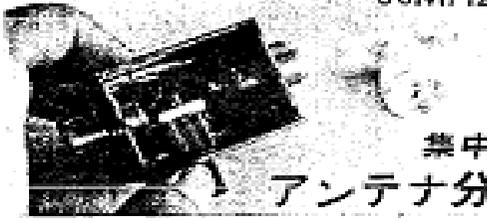
図-2 (一例です。)

もし、OM各局でジャンク箱をお持ちになっている方がおられましたら、是非その箱を探して見て中身の確認をされては如何でしょうか??何か良いお宝が出てくるかもしれませんよ!!

もう一つ小誌のコピーが出てきましたので、御紹介させていただきます。標題には、「特集/V・UHF製作精選 PART3 50, 144MHz帯用 集中定数を用いたアンテナ分配器の試作 JA7RKB (十文字 正憲)」(図2)と出ています。

50MHz, 144MHz 帯用

JA7RKB
十文字 五孝



集中定数を用いた アンテナ分配器の試作

はじめに

最近、多くの電子愛好者は無線の楽しさを求めて、無線機やアンテナの自作に没頭しています。その中でも、V・UHF帯のアンテナ製作は、特に人気があります。しかし、この帯域では、アンテナの特性が周波数によって大きく変化するため、アンテナの設計が非常に難しくなっています。本稿では、集中定数を用いたアンテナ分配器の試作について、その原理と製作方法を紹介します。

アンテナ分配器の試作

■ 図1は、集中定数を用いたアンテナ分配器の試作の回路図です。この回路図は、50MHzと144MHzの両方の周波数で動作するように設計されています。アンテナの特性を安定させるために、集中定数を用いたアンテナ分配器が採用されています。



図1 集中定数を用いたアンテナ分配器の試作の回路図

この回路図は、集中定数を用いたアンテナ分配器の試作の回路図です。この回路図は、50MHzと144MHzの両方の周波数で動作するように設計されています。アンテナの特性を安定させるために、集中定数を用いたアンテナ分配器が採用されています。

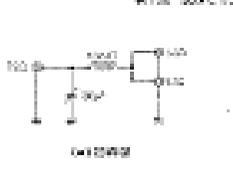


図2 50MHz, 144MHz帯用アンテナ分配器の回路図

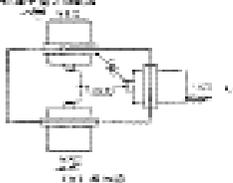


図2 50MHz, 144MHz帯用アンテナ分配器の回路図

(この写真は、最初の頁だけです。)

(図2)

この回路図は、御覧のとおりスタック用のアンテナ整合器です。頁数にして、5頁有りました。これからスタック運用を志している方には、朗報と言えると思います。是非、試されては如何でしょうか！！

